

現場・市民 目線で市政チェック。  
「いいね！」あふれる大和に。

令和4年  
12月議会の報告

vol.032

おだひろし 大和市議会議員  
元産経新聞記者

# 小田博士の 市政かわら版



## 大木市政4期目 どうだった？

# 「スピード感で時代に適応」

大和市の市長や市議会議員の任期満了まで、残りわずかとなってきました。このため、市議会令和4年12月定例会の一般質問では、大木市政4期目を点検し、総括しました。

大木哲市長は、新型コロナウイルス感染症の対応について「国内に影響が出ていない段階



で注意喚起を行い、アルコール消毒液を配置した。その後もスピード感を持って様々な取組を展開した」と述べました。

その上で「喫緊の課題は人口減少だが、少しでも抗えるよう『子育て王国』を掲げて子育て支援に全力で取り組んだ」と振り返りました。 =裏面に続く

## Q&A

### 一般質問(2022.12.16)から

#### 【大木市政(主に4期目)の総括】

Q. 4期目をどう総括するか？

A. 新型コロナウイルスが世界を席卷した。まだ国内に影響が出ていない段階で、いち早く市民に注意喚起を行い、手指消毒用のアルコール消毒液を市内公共施設に配置した。

その後もスピード感を持って様々な取組を展開した。おひとりさまや歩きスマホなど時代に適応した施策も実施し、将来の大和市に布石

を打つことができた。

我が国最大の危機は人口減少ではないか。令和4年9月までの出生数は過去最少ペースだ。少しでも抗えるよう「子育て王国」を掲げて子育て支援に全力で取り組んでいる。

Q. 危機管理は？

A. 人の命を守ることを第一に考えている。大規模地震を起因とする火災発生リスクを考え、スタンドパイプの配置などにも力を注いだ。が、まだまだ全然足りない。

Q. もっとも力を入れた交渉事は？

A. 中央林間(駅周辺の東急ストア内)の図書館は最初、東急から断られたが、交渉をスタートからやり直してゴーサインを得ることができた。

Q. 5選出馬の意思はどうか？

A. 現時点でお答えすることはないが、選挙までには明確に答える。

Q. 調査特別委員会の報告書や問責決議の受け止めはどうか？

A. 公平性、中立性を欠くと言わざるを得ない。市民サービスが低下したとの声は一切聞いておらず、一般質問や参考人招致などで可能な限り誠心誠意対応してきた。

# 今期はコロナ対応に注力

## 【表面から続く】

大和市政の4期目は、新型コロナウイルスの対応に追われました。

私は「一刻も早く元の日常を取り戻してほしい」という考え方から、過剰と考えられる対策（引地台温水プールの1年休業など）には異論を唱えてきました。一方、市民の生命と財産を預かる立場である市長が、住民の命を第一に市民目線の対策を打ち出したことは、前向きに捉えています。

たとえば、「別動隊」と称して市南部の上和田団地の集会所で、ワクチンの出前接種を行ったことは、団地に多く住む高齢者から喜ばれたことでしょう。ワクチン接種券を同封した大きな封筒は、他の書類等に紛れこんでなくならないようにするための配慮です。利用者の目線に立った、ちょっとした工夫と言えます。

市長は、市役所にすぐ駆け付けられる場所に住んでいると伺います。また、大震災などが万が一発生した際に、災害対応の指揮を万全に取れるよう、お酒も飲まないと言聞します。危機管理に対する意識が高いと見受けられます。

教育関係では、オンライン学習システムのスタディサプリを公立小中学校に導入し

たり、不登校特例校分教室を新設したりするなど先進的な事業も目立ちました。終活支援やおひとりさま（一人暮らし）支援、認知症対策をはじめとして時代のニーズをとらえた施策も数多く打ち出しています。

本市には優れた独自の取組が多く、その努力や成果は高く評価できます。

## 二元代表制の在り方は？

その反面、令和2年4月には、思いやりマスク着用条例を専決処分しました。コロナ対策を急ぎたかったのかもしれませんが、理念条例を議会に諮らず制定するのは前代未聞です。これは首長と議会が並び立つ二元代表制の在り方に課題を残しました。

翌年4月には、市長のパワハラ疑惑を理由として当時の副市長が辞任。市議会は調査特別委員会を設置しました。先の12月議会では、調査委の報告書を受けて、市長に対する問責決議や辞職勧告決議がそれぞれ可決されました。

私は問責決議には賛成しましたが、①一度議決した事件は同じ会期中に再び審議しない「一事不再議の原則」に反する②市政全般の評価を踏まえると厳しすぎる一との観点から、辞職勧告には反対しました。



## 3年ぶりに委員会視察

市議会文教市民経済常任委員会では昨年10月、

兵庫県養父市（小規模特認校）、岡山市（創業支援）、大阪府泉大津市（オーガニック給食）をそれぞれ視察しました＝写真。

委員会視察は、新型コロナウイルスの関係で自粛となっていましたが、3年ぶりの再開です。学んだ内容は12月議会一般質問に反映しました。



### ◆プロフィール

大和市議会議員（2期目）

昭和50年1月生まれ

大和市出身／福田在住

西鶴間小学校、南林間中学校

中央大学附属高校、上智大学経済学部卒

早稲田大学大学院政治学研究科修了

（公共経営修士、専門職）

◆産経新聞記者（16年間）当時の職歴

整理部→千葉総局→社会部→政治部

◆資格・特技 防災士、居合道3段

### 【3月議会】

大和市議会の令和5年3月第1回定例会は2月15日から3月14日まで28日間の日程で開催される予定です。一般質問は3月7～9日です。どなたでも傍聴できます。気軽にお越し下さい。

### ◆市議としての役職（令和4年5月～）

文教市民経済常任委員会委員長、基地対策特別委員会委員、広報委員会委員

基地対策協議会委員、広域大和畜場組合議会議員

### ◆その他の主な活動

自民党大和市連合支部

政調会長、広報局長

自民党神奈川県連

市町村議員協議会幹事

大和中央シティライオンズクラブ

隊友会、金毘羅神社神輿会

HPIはこちらから↓



大和市議 小田博士 〒242-0024 大和市福田5690-1-601

小田博士 検索

〈TEL〉046-206-5567 〈FAX〉046-206-4288 〈MAIL〉h-oda@nifty.com

このレポートは政務活動費を使用していません。

